

life style

このページでは障がい者の生活の
1コマをご紹介します。

調布市福祉作業所等連絡会ガイドブック わくわく

わくわく 65号 2014年10月 発行 調布市福祉作業所等連絡会 調布市布田2-26-8-101 TEL.042-481-3201 fuku-renrak@fbz-t.com.nc.jp
企画・編集 調布市ユニバーサル推進委員会「調布ワットホー」

写真:中橋正治

就労のヒントになるカルタを制作

11年前からNPO法人クッキングハウス会に通う齋藤敏朗さんは、精神的に不安定で引きこもりがちだったそうです。周囲に支えられ、初めは週1日ペースで通い始め、職員に励まされながら少しずつ日数を増やしていきました。

今はハローワークのチャレンジ雇用で働きながら、週に約1回通っています。仕事はコツコツと繰り返すことが得意だそうです。

就労前の齋藤さんは、クッキングハウスで月1回開催されている、就労者と就労を目指す利用者の交流を目的とした『ハローお仕事ミーティング』に参加。会の最後に参加者同士で、就労者の実体験にもとづくヒントやその日気になった言葉を発表し合っていました。

ある時、それらの言葉をかたるたにしてみても？と職員が提案。2013年から『ハローお仕事ルンルンかるた』作りが始まりました。45枚のカードの文章は皆で出し合い、絵を描くのが好きだった齋藤さんともう1名がデザイン。できあがったカルタは出版され、同作業所で1900円で販売されています。

齋藤さんの好きなカルタは、『出口が見えなくても方向が分かっていたら安心』。就労がなかなかうまくいかない時、この言葉に支えられ、働いている今はこの言葉を実感しているそうです。



表紙の作品は、「おみ月の会」のYさんが創作した陶芸作品。

陶芸の馬場先生の指導をいただきながら、粘土を「生懸命こねてのはして、作った絵画です。完成をみんなにほめてもらい、とても喜んでいました。

※次号「わくわく6号」は2015年3月に発行予定です。